

カテゴリー：復興・防災  
プロジェクト名：被災地支援・復興の発信

2018年8月7日  
オリンピック・パラリンピック準備局

「未来（あした）への道 1000 km縦断リレー2018」が  
駒沢オリンピック公園で最終ゴールを迎えました

このリレーは、青森から東京まで、東日本大震災の被災地域（全長約1,300km、150区間）をランニングと自転車によりリレー形式でつなぎ、復興へ向けた取組などを発信して東日本大震災の記憶の風化を防ぎ、全国から集まる参加者と被災地の方々の絆を深めることを目的に実施しており、今年で6回目となります。

7月24日に青森を出発して15日目の8月7日、ゲストランナーと一般ランナーの約100名が、リレーの最終ゴールである駒沢オリンピック公園に、大歓声の中ゴールしました（15日間で総勢1,540名が参加）。ゴール後行われた式典で、シドニーパラリンピックへ出場された元車椅子バスケットボール選手の根木慎志さんから、たすきを受け取った小池知事は、「皆さんがつないで下さったこのたすきは、全国の人々と被災地との心の絆です」と挨拶されました。

また、会場内において、「平成30年7月豪雨義援金募箱」や「みんなのメダルプロジェクト協力ボックス」を設置し、来場者へ協力を働きかけました。



駒沢オリンピック公園ゴール



たすきを受け取る小池知事

(お問い合わせ)



平成30年7月豪雨義援金箱  
&みんなのメダルプロジェクト協力ボックス

オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部 電話 03-5388-2198